３・４・５才児

日	曜日	行　事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	アドベント③
5	土	
6	日	
7	月	クリスマス礼拝（にじ・つき）
8	火	クリスマス礼拝（そら・ほし）
9	水	
10	木	クリスマス礼拝（かぜ）
11	金	クリスマス礼拝（もり） 身体測定（年中）
12	土	
13	日	
14	月	身体測定（年長）
15	火	
16	水	
17	木	お誕生会 身体測定（年少）
18	金	終業の日 ※午前保育（1号児）
19	土	冬休み（～1/7）※1号児
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

讃美アドベントクランツに

アドベントクランツにあかりがつくと かみのこ
イエスさまのおたんじょうがちかくなる
まーことのひーかり イエスさまのおたんじょうを
みーんながまっています みんながまっていまーす
アドベントクランツにあかりがつくと
かーみのこイエスさまの おたんじょうがちかくなる

讃まきびとひつじを

1. まきびとひつじを みまもる そのよる
はじめてでんしは ノエルをつたえた
※ノエルノエル ノエル イエル
主イエスは うまれた

2. かみのこ しゅイエスは
まずいすがたで このように
こられて まぶねにうまれた ※

3. はかせはかがやく
そのほしをたよりに
はるばるまぶねの
しゅイエスをたずねた ※

4. よろこびあふれて
ひがしのはかせは
しゅイエスをおがんで
たからをささげた ※

5. われらもこよいは
うたごえあわせて
へいわをもたらす
しゅイエスをたたえよう ※

受けるよりは
与えるほうが幸いである

信徒言行録
20：35

各クラスでクリスマス礼拝を行います。

今年は新型コロナの影響により、クラス別にクリスマス礼拝を行います。
家庭的な温かい雰囲気の中で イエスさまのご降誕をお祝いするクリスマスの喜びを、お家の方と共に分かち合いたいと思います。

1月の予定

8日(金)　3学期始業の日（午前保育）
28日(木)　お誕生会

※年間計画表でお伝えしていました「おもちつき」「参観週間」はコロナ感染拡大の状況に伴ない、中止とします。

〈おねがい〉

・お子さまの持ち物には必ず名前の記入をお願いします。
（シャンパー・コート・手袋・マフラー・くつ下など）
・学期末には着替等を持ち帰りますので、12/16～12/18までは毎日手さげ袋をご用意ください。
・預かりの申し込みは必ず3日前までにお願いします。
（1号認定・新2号認定・3育て支援児）

12月の乳児主題「うれしいね」

－月のねがい－
・イエスさまのお誕生を楽しみに待ち、祝う
・クリスマスの雰囲気を楽しみ、絵本やさんびかに親しむ
・まわりの人と思いを共有する経験をする

12月の幼児主題「喜びにあふれて」

－月のねがい－
・クリスマスの意味を知り、友だちと心を通わせ礼拝し、イエスさまの誕生を祝う。
・喜んで賛美したり踊ったりして心を弾ませる
・興味あることにじっくり取り組み、うれしさを感じる。

－月のねがい－
・クリスマスの意味を知り、愛されていることの喜びの中で礼拝する。
・クリスマスの喜びを分かち合うために自分たちにできることを考える
・寒さの中でも、身体を動かすことを仲間と一緒に楽しむ。

「クリスマス」に込められたメッセージ

先日、クリスマスについて先生たちと学びの時を持ちました。物語を通して伝えられているメッセージとは？また、そのメッセージを子どもたちにどう伝えていくのか？私はこの学びの中でマザーテレサの言葉を思い出しました。
「日本はどこもきれいですね。だけど日本の国は本当の意味で豊かではありません」
「愛の欠如は、今日の世界における最悪の病です」
一番冷たく暗い場所、暗闇を照らす光としてお生まれになったイエス様。神さまはもっとも貧しく、弱く、小さい者を一番大切にします。クリスマスはこの世は神さまの愛で包まれていることを知る日です。だからこそ、今もっとも苦しんでいる人や悲しんでいる人の心に寄り添うことが、本当の幸せ、人が生きていく豊かさであると示しています。そして一人ひとりが自分にできることを考え歩んでいくことが大切だと伝えてくれています。

♪クリスマスだから考える
作詞：阪田寛夫

クリスマスだから 考える
たくさん たくさん たくさん
悲しんでいる人のこと
クリスマスだから 考える
どうして どうして どうして
悲しいことがあるのかな
クリスマスだから 考える
苦しんでいる人のこと

本当の豊かさにあふれる社会を創っていきましょう!!

－クリスマスに向けて絵本紹介－

「くつやのまるちん」
ドルステイ 原作
まるちんの願いは「キリスト様」に会うこと。クリスマスの日にまるちんに起きた奇跡…信じる心と人に寄り添う優しさに心の温まるお話。

「トムテ」
リーベル・ベリイクヴィスト 作
スウェーデンの農場や仕事場に住むというこびとトムテ。人はめったにその姿を見られないそうですが、クリスマス・イブには、感謝の気持ちを込めて、トムテへの贈り物「おかゆ」を置くそうです。目に見えない存在を感じ、ありがとうの気持ちとともに暮らすと、クリスマスという日に思い出すもステキですね。

「ライオンと一角獣とわたし
－クリスマスの物語－」
ジョスト・ウィンターソン 著
リスベート・リヴェーガ 絵
なぜロバがマリアを運ぶ物語に選ばれたのか…
ライオンと一角獣とロバと天使…その会話の中にこの本の伝えたいことの多くが語られている気がします。

「ちいさなもみの木」
マーガレット・ワイズ・ブラウン 作
バーバラ・クーニー 絵
森のはずれにぽつんと立つちいさなもみの木が出る日…静かに心にあたたかく心に語りかけてくれる絵本です

１・２才児

日	曜日	行　事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	身体測定（さくら・たんぽぽ）
16	水	
17	木	
18	金	終業の日 ※午前保育（1号児）
19	土	冬休み（～1/7）※1号児
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	